

最高裁において鉄道・運輸機構との和解成立

1047名のJR不採用問題に対するご支援・ご協力ありがとうございました。

ご報告と御礼

長年にわたり、私どもの1047名のJR不採用問題の早期全面解決をめざす取り組みに対し、並々ならぬご理解・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

1987年にJRを不採用となり、1990年4月1日に国鉄清算事業団から1047名が二度目の解雇をされてから23年の歳月が経ちました。

一日も早い解決を求め、闘い続けた歳月は実に四半世紀に及び、当時は働き盛りにあった被解雇者の平均年齢もすでに56歳を超え、無念の思いを残して亡くなった当事者も64名を数えます。更にこれからの人生や老後の生活設計など将来への見通しが立たないなかでの不安や動揺は計り知れず、まさに解決は一刻の猶予も許されない状況にありました。

こうしたなか、去る4月9日、民主・社民・国民新党の与党三党（当時）と公明党は、政府との間で「雇用・年金・解決金」を柱とした1047名のJR不採用問題の解決案を取りまとめることで合意しました。

国労は当事者・原告をはじめとする「4者・4団体」とともに直ちに解決案の受諾を表明し、4月26日に開催した第78回臨時全国大会において正式に承認を行い、6月28日には最高裁において鉄道・運輸機構との間で和解が成立しました。

23年もの長きにわたり、皆様方から頂いたご支援・ご協力と言葉で言い尽くせぬご厚情にあらためて感謝と御礼を申し上げます。

書面にてはなはだ失礼かと存じますが、引き続き、残された課題である雇用問題の解決まで皆様方のご理解を賜りますようお願いし、ご報告ならびにご挨拶とさせていただきます。

長い間のご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

2010年7月

国鉄労働組合

